

ファインコンベヤシリーズ

取扱説明書

型式 : FES / FED



このたびは本製品をご採用頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

**ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全に末永くご使用頂くために、内容に
したがって正しくお使いください。**

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。

okura
Flexible Automation System

(Ver. 4. 1)

目次

1. はじめに	
1-1) 取扱説明書での表示マークについて	4
1-2) 製品でのラベル表示について	4
1-3) 型式例	5
1-4) 搬送能力	5
2. 安全上のご注意	
2-1) 使用条件	6
2-2) コンベヤ起動前の注意事項	8
2-3) コンベヤ起動中の注意事項	9
2-4) コンベヤ停止時の注意事項	9
2-5) その他注意事項	9
3. 据付	
3-1) 据付(設置)	10
3-2) オプション取付け	10
3-3) スイッチボックス移動	10
3-4) 駆動部の移動	10
4. 運転準備	
4-1) 電源コード接続	11
4-2) ベルトの張り方	11
5. 運転	
5-1) 定速の場合	12
5-2) 変速の場合	13
6. 定期点検	14
7. 点検と修理	15
8. 主要部品の交換方法	
8-1) ベルトの交換(90W)	16
8-2) モータ/ギヤヘッドの交換	17
9. 各部品の手配について	18
9-1-1) FESの部品リスト	18
9-1-2) FES/FEDの展開図	19
10. 保証	21

ご使用前の確認

本体

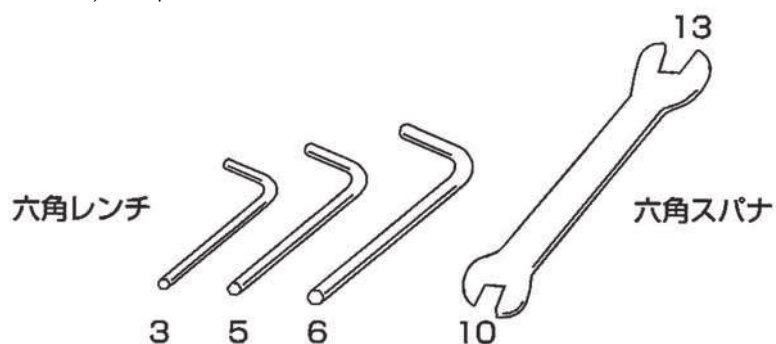
お届けした商品がご注文どおりのものか、本体に貼付けられた製品ラベルでお確かめください。

付属品

同封されている付属品をお確かめください。

六角レンチ(平径3・5・6) 各1本

六角スパナ(平径10×13) 1本



オプション部品

別途ご注文のオプション部品がご注文どおりのものか、お確かめください。

損傷

発送時、梱包には十分な配慮をしていますが、納品されましたら念のため輸送中に生じた損傷がないかお調べください。万一ご注文と異なりましたら、また何らかの損傷がありましたら、ただちに弊社またはお取扱店へお知らせください。

1. はじめに

「労働安全衛生法」・「コンベヤの安全基準に関する技術上の指針」・設置される場所に必要な「安全規則」(労働安全衛生規則／電気設備技術基準／内線規程／工場防爆指針／建築基準法など)を遵守してください。

また、事業者には、「コンベヤの安全基準に関する技術上の指針」により、災害防止のための教育の実施が明記されています。機械を使用される人、保守担当者、貸与される方等に、「取扱説明書」を中心に安全教育を実施してください。

取扱説明書や警告ラベルに記載されている ⚠️ マーク付きの説明は、安全上特に重要な項目ですから必ずお守りください。

1-1) 取扱説明書での表示マークについて



危険

取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される場合を示します。



警告

取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う潜在する危険が想定される場合を示します。



注意

取扱いを誤った場合、軽傷または中程度の障害を負う危険、又は物的損害のみの発生が想定される場合を示します。



禁止

この表示は、「一般人及び作業者に対して危険を防止するための行動・行為そのものを禁止する」内容です。

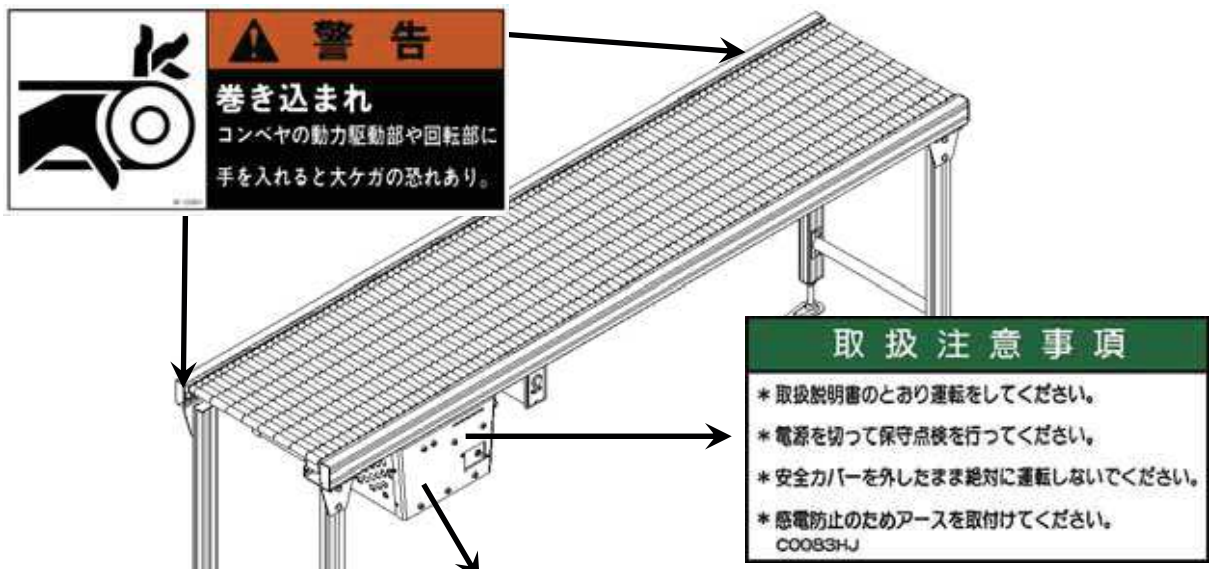


強制

この表示は、「必ずすること」を示す内容です。

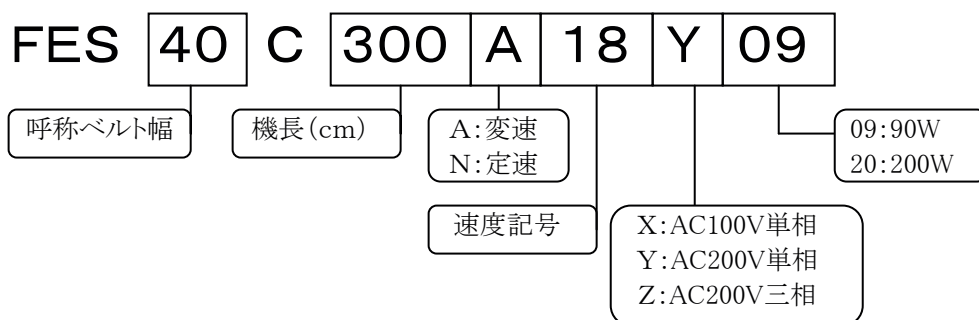
1-2) 製品での警告ラベル表示について

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。製品には下記の位置に貼り付けてあります。



工事番号	7X1234	機番	001	製品型式	FES40C300A18Y09
モータ型式	MMMMMM			コントローラ型式	CCCCCCC+GGGGGG
ベルト型式	BBBBBB			製造年月	2007/10
					okura

1-3) 型式例



1-4) 搬送能力

ご使用時の最大搬送物質質量(kg/台)を確認してください。

搬送能力表		●定速仕様			■			単位: kg/m
FES 300RWの場合		機長m						
モータ出力	速度 m/min	2	3	4				
90/200W	15	37/37	25/25	15/18				
	18	32/37	18/25	11/18				
	20	32/37	18/25	11/18				
	24	25/37	13/25	7/18				
	30	18/37	8/25	4/18				
	36	13/37	5/22	1/12				
FED 300RWの場合		機長m						
モータ出力	速度 m/min	2	3	4				
90W	15	37	25	18				
	18	37	24	15				
	20	37	24	15				
	24	33	18	10				
	30	24	11	5				
	36	17	7	2				

注) ①上記グラフは定速水平分散荷重時の搬送能力を表します。

②変速仕様の場合、搬送速度が最大速度の1/3になると、搬送物質質量は最大速度時の90%に低下します。

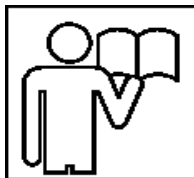
2. 安全上のご注意

2-1) 使用条件

警告 **強制**

コンベヤ使用者・保守担当者について

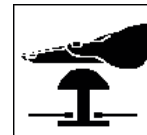
事業者から、災害を防止するために必要なコンベヤの取扱い要領や保全方法などについて教育を受け、事業者から指名された人が、コンベヤの運転及び保全を行ってください。



警告 **強制**

ご使用の際には、「非常停止スイッチ」を設けてください。

万一の事故が発生した時には、直ぐに停止できないと危険です。また、コンベヤに異常が発生した場合も直ちに停止できないと、コンベヤの損傷を大きくする恐れがあります。



警告 **強制**

コンベヤ下に人が立入る高さの部分には危険防止のため、「下面にカバー」を設けるか、「立入防止柵」を設けてください。

リターンローラに巻き込まれる恐れがあります。

警告 **強制**

キャスターのブレーキをロックし、前後の機器と連結してご使用ください。

搬送中にコンベヤが移動すると、搬送物が落下し、搬送物の損傷や、作業者の足の上への落下等の恐れがあります。

警告 **強制**

コンベヤは床や前後の機器などにしっかり固定してご使用ください。

コンベヤが転倒すると、作業者の足の上への落下等の恐れがあります。

警告 **強制**

作業に適した服装・髪型で使用してください。

ベルト・ローラ等に巻き込まれる恐れのない服装・髪型で作業してください。

注意 **強制**

コンベヤの周辺は、整理・整頓及び清掃してください。

コンベヤの下に、梱包資材・ツールボックス・ゴミ箱等を置かないでください。

危険 **強制**

爆発性雰囲気、使用しないで下さい。

爆発性の雰囲気（ガス・粉塵など）では使用しないでください。火災の原因になります。異常が発生した場合も直ちに停止できないと、コンベヤの損傷を大きくする恐れがあります。

注意 **強制**

停止スイッチ、及び非常停止スイッチの周囲は、整理・整頓してください。

作業者が万一、コンベヤに巻き込まれた時に、直ちに停止できないと危険です。

注意 **強制**

下記の使用環境で使用してください。

周囲温度:5℃～40℃(凍結のないこと)
周囲湿度:85%以下(結露のないこと)
粉塵が少ない、腐食性ガス、蒸気等がない環境

⚠ 警告 **🚫 強制**

コンベヤには、満杯になっている下流側のコンベヤへの搬送物の供給を停止させるインターロック回路を設けてください。

満杯状態のコンベヤへの搬送物供給を続けると、搬送物が落下する恐れがあります。また、モータの過負荷や、ベルト蛇行の原因となり、各部品の消耗を早めます。

⚠ 警告 **🚫 禁止**

カバーを外したまま使用しないでください。

点検等で外す場合も、事業者の許可を得てください。また、点検等が終了したら、直ちに現状復帰してください。カバーが破損・紛失等により、機能を失った状態になった時は、事業者へ連絡し適切な処置を講じてください。

⚠ 警告 **🚫 禁止**

踏切橋、及び通路以外のところで、コンベヤの上又は、下を横断しないでください。

作業者の転倒やコンベヤの損傷、及び髪の毛等が回転部に巻き込まれる可能性があります。

⚠ 警告 **🚫 禁止**

コンベヤとしての用途以外の使い方はしないでください。

コンベヤとしての用途以外の使い方をすると、コンベヤが破損する恐れがあります。

⚠ 警告 **🚫 禁止**

この製品を改造や加工しないで下さい。

必要な場合は、弊社にご相談下さい。許可のない改造・加工には責任を負いかねます。

⚠ 警告 **🚫 禁止**

コンベヤの上には乗らないでください。

コンベヤ上に乗らないでください。転倒や挟まれによる重大な事故の恐れがあります。

⚠ 注意 **🚫 禁止**

搬送物は、規定の寸法・種類以外の物は流さないでください。

搬送状態が不安定になり、転倒、落下等の原因となり、危険です。

⚠ 注意 **🚫 禁止**

最大搬送物質量(kg/台)以上の搬送物は流さないでください。

能力以上の搬送物を流しますと、モータやベルトの寿命が短くなります。

⚠ 注意 **🚫 禁止**

モータが熱くなることがありますので、素手で触れないでください。

コンベヤ運転中、及び運転直後にモータプーリに触れるとヤケドの恐れがあります。

**⚠ 注意** **🚫 禁止**

水がかかる場所又は、結露の発生する場所では使用しないでください。

感電・ショートする恐れがあります。

2. 安全上のご注意

2-2) コンベヤの起動前の注意事項

⚠ 警告 ⚡ 強制

起動時の安全確認は、必ず実施してください。

作業者が、コンベヤに接していないか確認してください。

⚠ 警告 ⚡ 強制

起動時に運転操作位置から起動するコンベヤを全て監視できない場合には、起動を予告する「起動警報装置」を設けてご使用ください。

作業者が、コンベヤに接していないか確認してください。

⚠ 警告 ⚡ 強制

キャスターのブレーキをロックしてから使用してください。(移動式脚の場合)

搬送中にコンベヤが移動すると、搬送物が落下し、搬送物の損傷や、作業者の足の上への落下等の恐れがあります。

⚠ 警告 ⚡ 強制

保全作業を行う場合、必ず主電源を切り、かつ、コンベヤが作動しないように処置を講ずること。

保全作業に気付かずに、他の作業員が主電源を入れ、起動した場合、大変危険です。

⚠ 注意 ⚡ 強制

感電防止のため、必ずアース線を接続してください。

AC100V単相

プラグをコンセントに差し込む時、アースクリップを感電防止の為にコンセント付近の導電体に挟み込んでください。

AC200V単相 AC200V三相

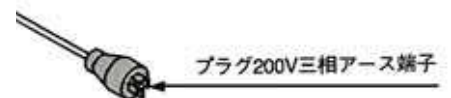
プラグ端子の向きをコンセント側の穴に合わせて差し込んでください。



100V単相
アースクリップ



プラグ
200V単相
アース端子



プラグ200V三相アース端子

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。

そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

⚠ 注意 ⚡ 禁止

異常がないか、確認してください。

コンベヤは、正常な状態で使用されるよう、日常点検・定期点検及び、整備を実施してください。

⚠ 注意 ⚡ 禁止

コンベヤ上に搬送物をのせたまま起動しないでください。

過負荷になり、モータを焼損する恐れがありますので、必ず空運転を行い、各部に異常がないことを確認してください。

2-3) コンベヤ起動中の注意事項

 **警告**  **強制**

運転中に異常が発生した場合は、直ちに機械を停止して下さい。

異常運転を続けると、コンベヤの寿命を短くすることになります。
(モータ焼損/ベルト損傷など)

 **警告**  **強制**

電気回路を修復する場合、起動スイッチを施錠する等他の人が操作できないような処置をとること。

修復作業に気づかずに起動された場合、大変危険です。

 **警告**  **強制**

コンベヤ運転中は、回転部に手を触れないでください。

コンベヤに巻き込まれてケガをする恐れがあります。

 **注意**  **強制**

搬送物はなるべくコンベヤの中央に載せてください。

搬送物は、ベルトからはみ出さないように載せてください。不安定な状態ですと搬送物が落下する恐れがあります。
また、ベルトの蛇行の原因となります。

2-4) コンベヤ停止時の注意事項

 **注意**  **禁止**

コンベヤ上に搬送物をのせたまま停止しないでください。

急な停止で搬送物が不安定となり、落下などの危険があります。

2-5) その他注意事項

 **注意**  **強制**

この製品を貸し出すときは、取扱説明書も貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使用するよう指導してください。

 **注意**  **強制**

製品に貼ってある警告ラベルははがさないでください。

もし、傷ついて見えなくなった場合は、ご購入された代理店、または最寄りの弊社支店・営業所に連絡してください。

※ この製品を長期間使用されない場合は、雨露により錆が発生しないように保管してください。

※ この取扱説明書をすぐに取り出せるところへ大切に保存してください。

3. 据付

ご使用前の準備として組立・据付けをいたします。

3-1) 据付け(設置)

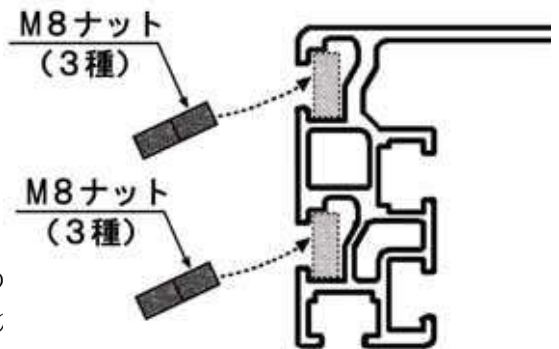
脚のアジャスト金具を回してコンベヤの据付レベルを調整してください。

ねじれたままのご使用は蛇行の原因となり、ベルトの寿命を縮めることとなります



3-2) オプション部品の取付け

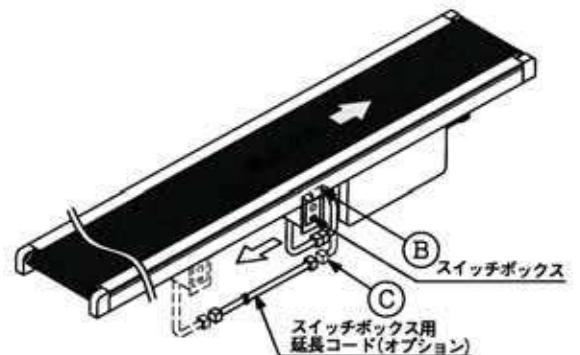
オプション部品の取付け時には、フレーム側面からスリットに必要な数のM8ナット(3種)を挿入して、ボルトで固定してください。(右図)



3-3) スイッチボックスの移動

スイッチボックスを標準の位置から移動させる時、コードの長さが足りなくなる場合があります。その時は、オプション「スイッチボックス用延長コード」を使用してください。

- ① 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- ② スイッチボックスとモータを接続しているコネクタC部を外します。
- ③ スイッチボックス取付けボルトBを緩め、移動してください。
- ④ スイッチボックス用延長コード(別注品)をC部に継ぎたします。
(コネクタのピンを確認して確実に接続してください)
- ⑤ スイッチボックス取付けボルトBを締めます。



上図は、ベルトコンベヤですがコントローラの移動方法は同じです。

3-4) 駆動部の移動

両サイドの側面カバーをはずし、駆動フレーム取付けボルトA(本図3カ所と反対側(90W)2カ所、(200W)3カ所)を緩めると駆動部をスライドさせて移動することができます。(下図)

注意

- ※ 駆動フレームを移動した時、左右駆動フレームのズレ寸法を0.5mm以内に調整してください。

4. 運転準備

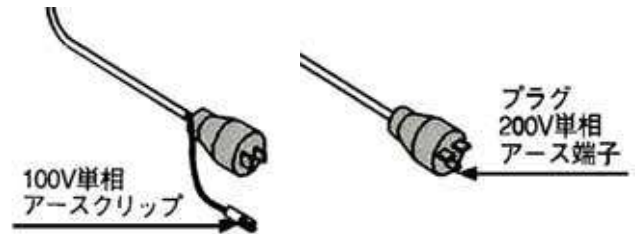
4-1) 電源コードの接続

警告 **強制**

感電防止のため必ず「アース線」を接続して使用ください。
また、電源側に「漏電遮断器」を取付けご使用ください。

AC100V単相の場合90Wタイプ

プラグをコンセントに差し込む時、アースクリップを感電防止の為にコンセント付近の**導電体**に挟み込んでください。



AC200V単相の場合90Wタイプ

プラグ端子の向きをコンセント側の穴に合わせて差し込んでください。



AC200V三相の場合200Wタイプ

プラグ端子の向きをコンセント側の穴に合わせて差し込んでください。

- (1) 起動するか確認してください。
- (2) 「運転方向は正しいか？」
「速度は適正か？」確認してください。
- (3) 異音を発するなどの異常はないか？
確認してください。

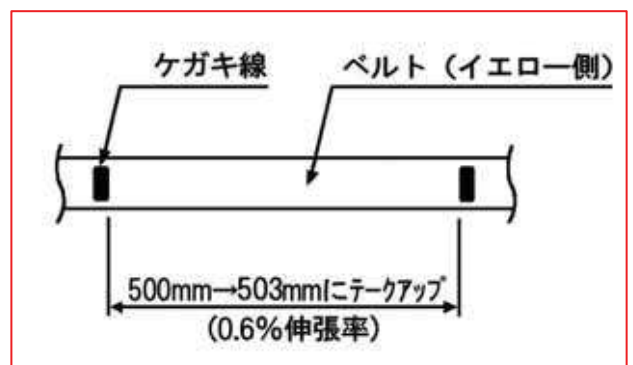
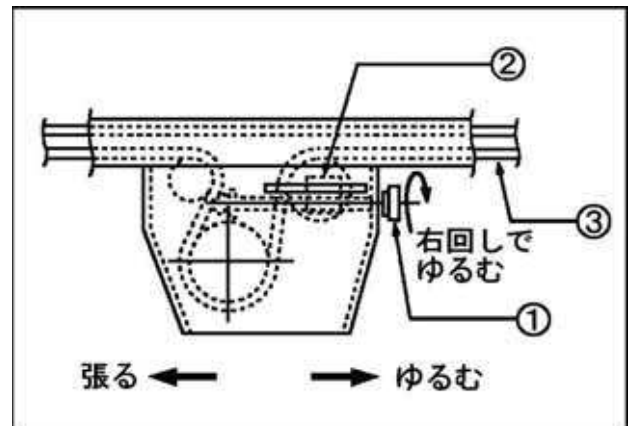
警告 **強制**

起動時の安全確認は、必ず実施してください。

作業者が、コンベヤに接していないか確認してください。

4-2) ベルトの張り方

- (1) テークアップノブ①を右に回して、テンションシープ②を矢印方向(→ゆるむ)へ移動させてベルト③が容易に取外せるくらいの位置まで動かしてください。
- (2) ベルト③を完全に緩めた状態で500mmをケガキ、テークアップノブ①を左に回して、ベルトのケガキ寸法が、**503mm(0.6%伸張)**になるまでテンションシープ②を矢印方向(←張る)に動かします。
- (3) 搬送物を流してみても正常な運転であれば完了です。搬送物質量が規程内であるにも関わらずベルトがスリップする場合は、もう一度ベルトの張りをチェックしてください。

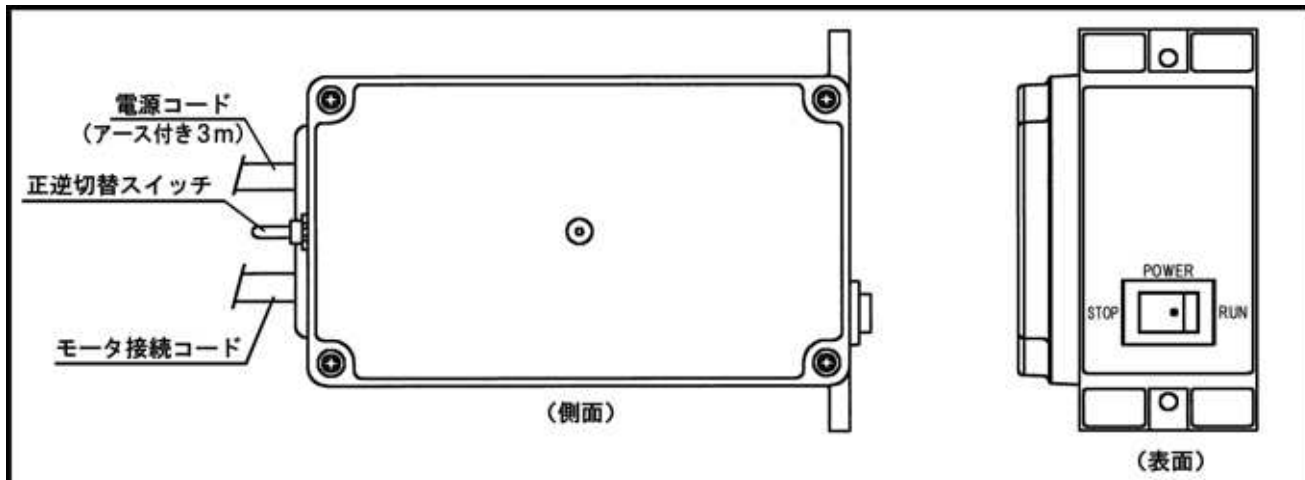


5. 運転

5-1) 定速仕様の場合

90W <100V・200V単相> <200V三相>

- ① スイッチボックスのスイッチを「RUN」側にしますとモータが回転しベルトが走行します。
- ② 「STOP」側にしますと停止します。



⚠ 注意 **!** 強制

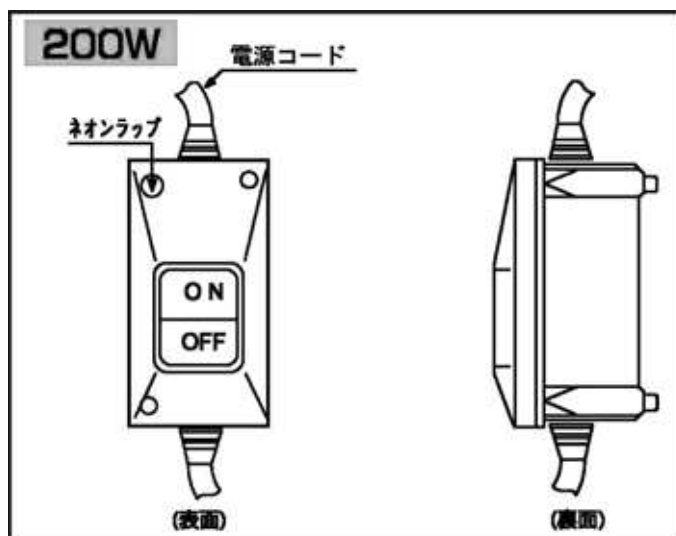
搬送方向を変更する場合は、コンベヤを必ず停止し「正逆切換えスイッチ」を切替えてください。

⚠ 警告 **!** 強制

運転方向を変更した場合、必ず蛇行調整を行ってください。

200W <200V三相>

- ① スイッチボックスの「ネオンランプ」が点灯していること確認してください。
- ② スイッチボックスのスイッチを「ON」を押すとコンベヤが起動します。
- ③ 「OFF」を押すと、コンベヤが停止します。



5-2) 変速仕様の場合

90W <100V・200V単相> <200V三相>

- ①スイッチボックスの「通電確認ランプ」が点灯していることを確認してください。
- ②「運転スイッチ」をRUN側に移動させれば、コンベヤは起動します。
- ③「変速ダイヤル」をHigh側に回転させるとベルト速度が早くなり、Low側に回転させると速度が遅くなります。作業に合った適正な速度に設定してください。
- ④変速範囲の制限まで絞り込むと搬送能力が不足することがありますのでご注意ください。
- ⑤「運転スイッチ」をSTOP側に移動させると、コンベヤが停止します。
- ⑥正逆運転の切替えは、コンベヤを停止させパネル面の正逆切替えスイッチでおこなってください。

注意 **強制**

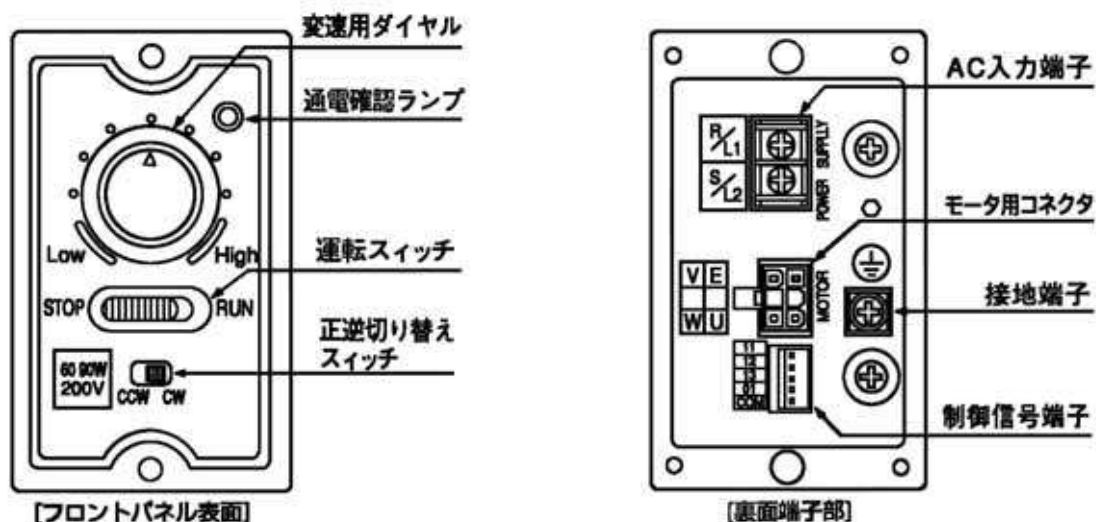
搬送方向を変更する場合は、コンベヤを必ず停止させパネル面の「正逆切替えスイッチ」で行ってください。

警告 **強制**

運転方向を変更した場合、必ず蛇行調整を行ってください。

90W

(100V・200V単相入力 200V三相出力モータ)

**200W** <200V三相> (200Wインバータ制御を採用しています。)

詳細は、インバータの取扱い説明書をご覧ください。

6. 定期点検

- コンベヤを末永くご利用いただくためには、適正なメンテナンス・調整が必要です。
下記の点検項目でチェックしてください。異常があれば次の手順で調整してください。

点検項目

点検日	点検箇所	点検項目	点検方法	処理	備考
日常	押上げシーブ	異常音の有無	聴診	給油	
15日	各種シーブ	シーブの回転	目視	取除き	タイミングベルト切断の原因となります。
	ベルト	よじれ スリップ 張り 磨耗 亀裂	目視 手診	調整 取替え	シーブ芯合わせ 亀裂を生じたもの
3ヶ月	フレーム 脚取り付け部品	ボルト・セットボルト・キー・ピンのゆるみ	目視 打診	増締	
	モータ (減速機含む)	取付けボルトのゆるみ	打診 振動	増締	
		軸受部の発熱 異常音の発生	手診 聴診	分解 点検 潤滑	モータの取扱説明書を参照
		モータ部の発熱	手診 アンメータ		
	潤滑油状態	目視			
6ヶ月	キャリヤローラ	異物の付着	目視	清掃	必要時に行う
	リターンローラ	軸受け部の磨耗	手診 聴診	取替え	
	プレスベアリング	回転潤滑	手診 聴診		
	フレーム 脚取付け部品	部材の変形・損傷	目視	取替え	
塗装落 発錆の有無		目視	補修 塗装		
1年	ドライブシーブ テンションシーブ	亀裂／磨耗	目視 打診	取替え	無給油式
		ベヤリング回転	目視	取替え	

- ① 運転開始後、3ヶ月以内に各ボルトナットのゆるみチェック及び増し締めをしてください。

7. 点検と修理

【状況】	【原因】	【対策】
ベルトとプーリ間でスリップ	ベルトがゆるんでいる	ベルトの張りを調整してください。 ※「ベルトの張り方」(P. 11)を参照ください。
	搬送質量がオーバー	搬送質量制限内で運転してください。 ※「搬送能力」(P. 5)を参照ください。
	ベルトがシーブ溝より外れている	正しいベルトの掛け方に復旧してください。
	回転部分に異物が挟み込まれている	異物を除去してください
異音の発生	押し上げシーブの異音	マシン油を少量給油してください。
モータの過熱・うなり音	搬送質量がオーバー	搬送質量制限内で運転してください。 ※「搬送能力」(P. 5)を参照ください。
	低速領域のトルク不足(変速仕様時)	計画速度範囲内で使用してください。
	ベルトの張り過ぎによる過負荷	ベルトの張りを調整してください。 ※「ベルトの張り方」(P. 11)を参照ください。
	モータの冷却ファンへの異物の噛込み	異物を取り除いてください。
	ギヤヘッドの故障	交換の必要がある場合は弊社まで連絡してください。
コンベヤが起動しない	ドライブシーブの打ち込みキーが脱落	キーをしっかりとセットしてください。
	モータの故障	交換の必要がある場合は弊社まで連絡してください。
	コントローラの故障	交換の必要がある場合は弊社まで連絡してください。
コンベヤが起動しない(電気系統)	各ターミナルにおける配線の接続不良及び断線	テスターでケーブルの断線チェックを行い、ターミナル部分の結線をやり直してください。
	欠相運転(200V3相の時)	テスターで配線を調べ、接続をやり直してください。
	正逆切換スイッチが中間になっている	正・逆のいずれかの方向へあわせてください。

<90W仕様の場合>	モータ交換	コントローラ交換	ギヤヘッド交換
モータの故障	○	—	—
ギヤヘッドの故障	—	—	○
コントローラの故障	—	○	—
速度の変更	—	—	○
定速と変速の切替え	○	○	—
<200W仕様の場合>	モータ交換	コントローラ交換	スプロケット / タイミングプーリ
モータの故障	○	—	—
コントローラの故障	—	○	—
速度の変更	○ ※1	—	○ ※1
定速と変速の切替え	—	○	—

※ 1) 変更する速度によって異なります。最寄りの営業所へお尋ね下さい。

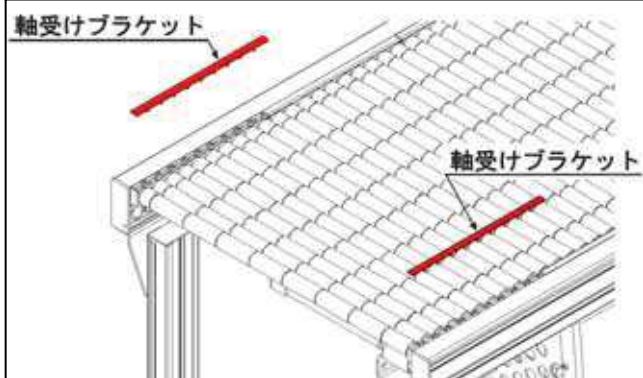
8. 部品の交換方法

8-1) ベルトの交換

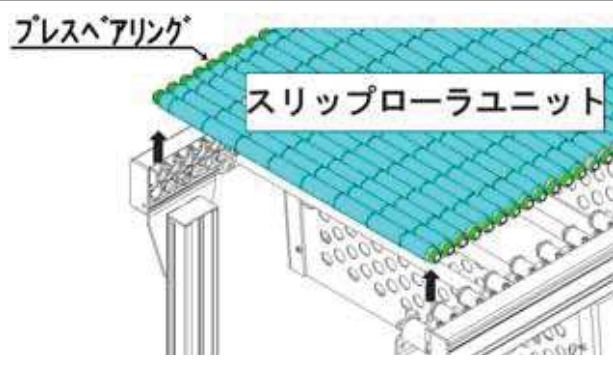
(90Wを示しますが、200W仕様の場合も同じ要領で作業してください)

① 電源を切ります。

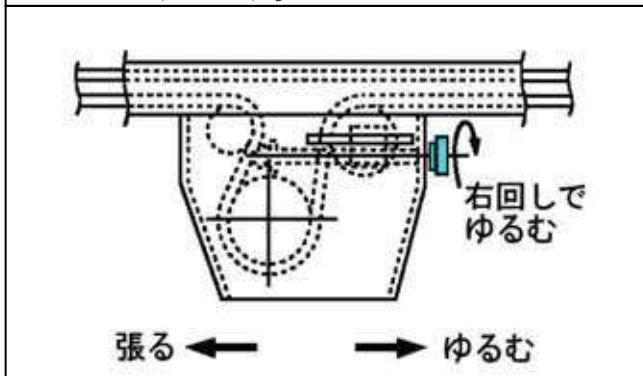
② 左右の軸受けブラケットを全て取りはずします。



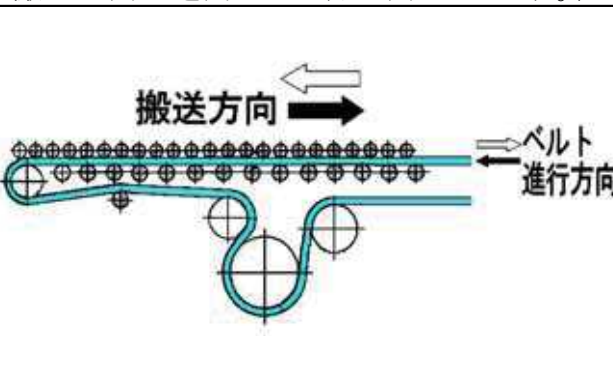
③ スリッローラユニット及び、プレスベアリングを全て取はずします。



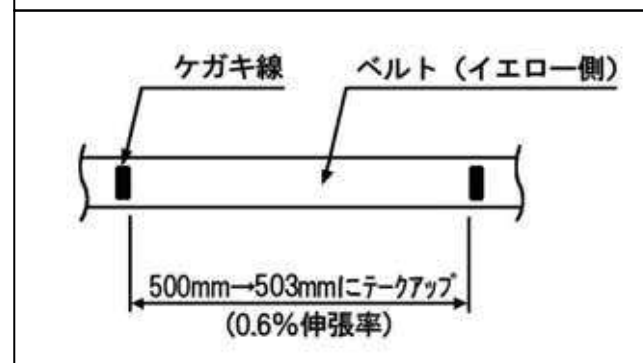
④ 駆動部のテークアップノブを右に回してベルトをゆるめてください。ベルトがゆるめば、横からとりはずせます。



⑤ ベルトの取付け時は、ベルト記載の進行方向を確認して取付けてください。(ベルトは搬送方向の逆向きが進行方向になります。)



⑥ ベルトを完全に緩めた状態で500mmをケガキ、テークアップノブを左に回して、ベルトのケガキ寸法が、503mm(0.6%伸張)になるまでテンションシーブを矢印方向(←張る)に動かします。



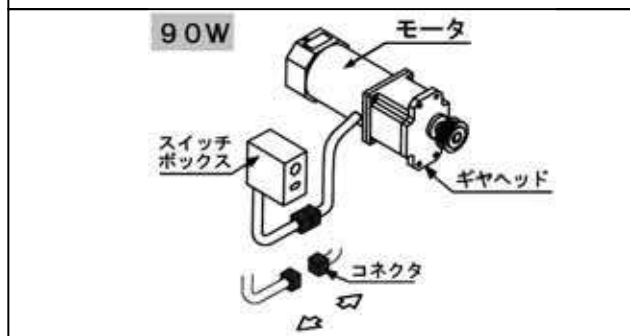
⑦ 搬送物を流してみても正常な運転であれば完了です。搬送物質量が規程内であるにも関わらずベルトがスリップする場合は、もう一度ベルトの張りをチェックしてください。

8-2) モータ／ギヤヘッドの交換

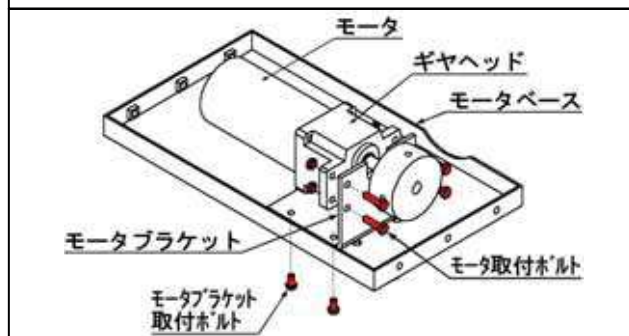
① 電源を切ります。

分解作業

② スイッチボックスとモータを接続している配線をコネクタより外します。



③ 「モータブラケット取付ボルト」「モータ取付ボルト」を外し、モータを取り出します。



④ 「ギヤヘッド」及び「中間ギヤヘッド」を取外してください。

⑤ <モータを交換する場合>

ギヤヘッドに「ドライブプーリ」を付けたままでOKです。

<ギヤヘッドを交換する場合>

ギヤヘッドの「ドライブプーリ」を取外してください。

組立準備

⑥ Oリングがインロー部の奥に装着されていることを確認してください。

⚠注意 (Oリングが浮いた状態で組み込むと、グリス漏れの原因になります。)

⑦ ギヤケースの端面にグリスが付着している場合はよくふき取ってください。

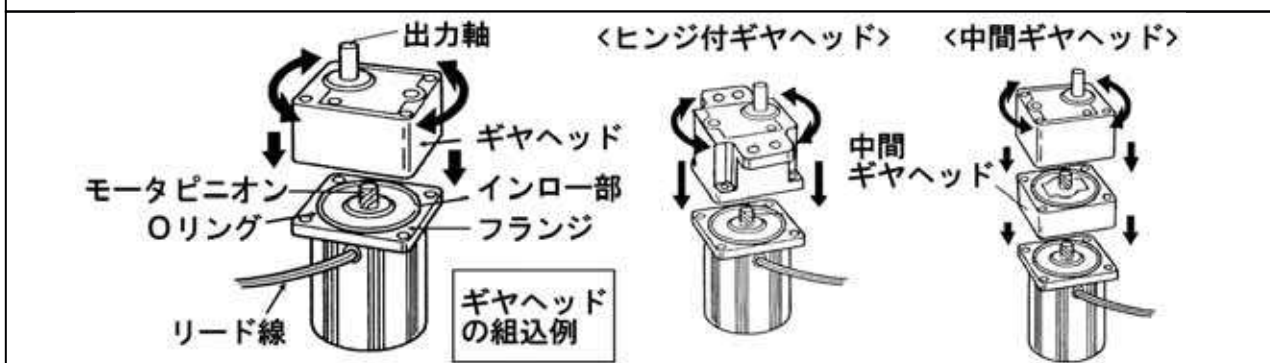
⚠注意 (グリスが付着したまま組立てますと、グリスがにじみ出す原因になります)

組立て

⑧ モータピニオンを上向きにし、モータのリード線の方向とギヤヘッドの出力軸の関係を機器にマッチングする位置あわせてください。

⑨ モータピニオンの歯先をギヤヘッドの歯に当てないよう、左右にわずかに回しながら組み込んでください。

⚠注意 「モータ」と「ギヤヘッド」を無理に組み込んだり、モータピニオンの歯先やギヤヘッドの歯に傷が付きますと、異常音の発生や寿命低下などの原因になります。



⑩ モータの取付け後は、「ベルトの張り方」(P.11)を参照してください。

※モータが200W仕様の場合は、ギヤ・モータは一体型となるためセット交換になります。

9. 各部品の手配について

工事番号	7X1234	機番	001	製品型式	FHH40C400A18Z09
モータ型式	MMMMMM + GGGGGGG			コントローラ型式	CCCCCCC
ベルト型式	BBBBBBB			製造年月	2007/10
					okura

「生産ラベル」には、下記の内容が記載されています。

- ① 工事番号
- ② 機番
- ③ 製品型式

- ④ モータ型式（小型モータの場合は、「+」以降がギヤヘッド型式となります）
- ⑤ コントローラ型式
- ⑥ ベルト型式

- ⑦ 製造年月

④⑤⑥の部品を手配される場合は、最寄りの弊社営業所へご連絡ください。

その他、各部品

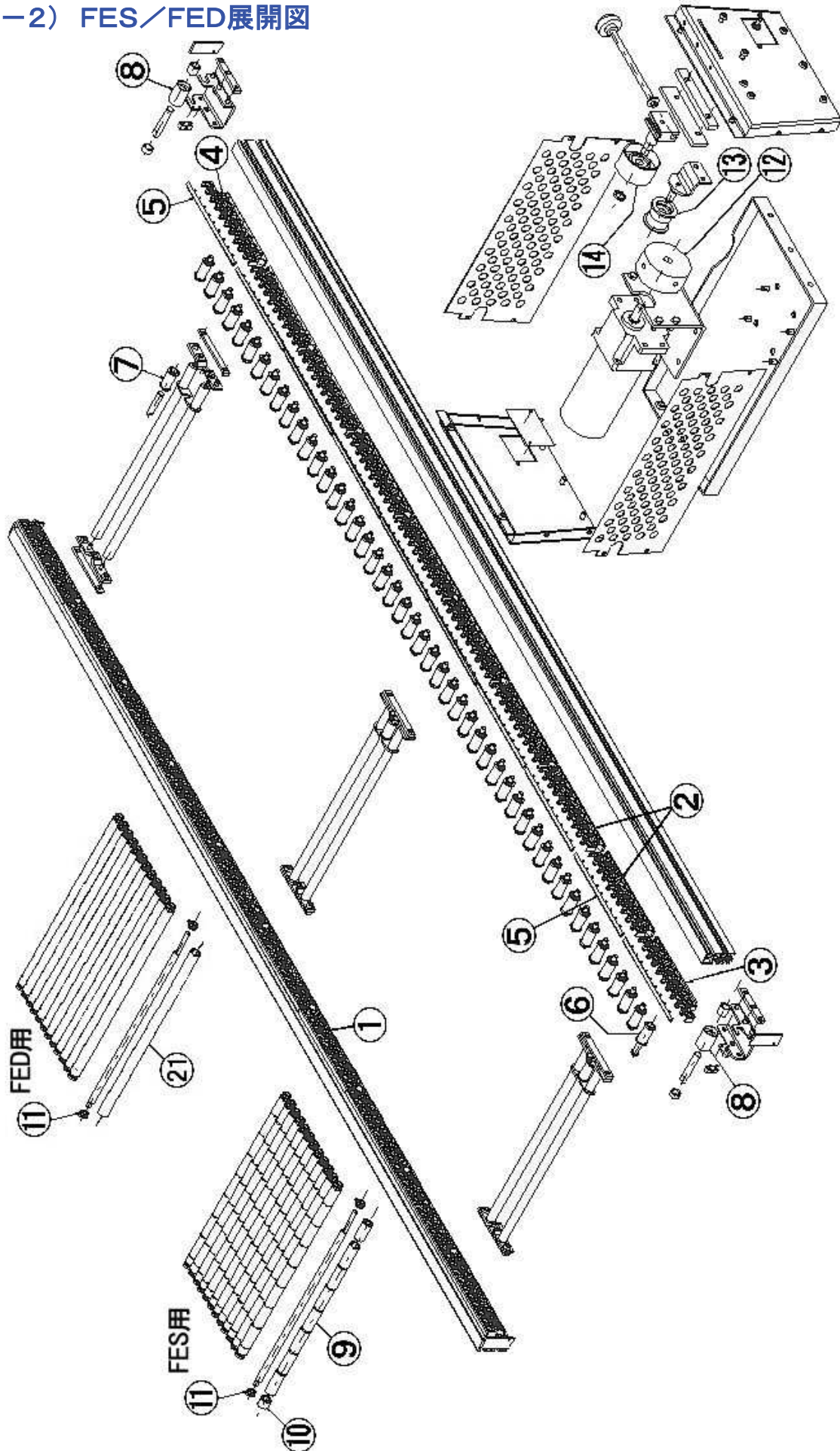
機種とモータ容量毎に部品リストを参照し、品名・品コードで最寄りの弊社営業所へご連絡ください。

※ 最寄りの営業所は、最終ページに記載しています。

9-1-1) FES(90W)の部品リスト

番号	部品名称	品コード
1	FES 軸受ブラケット(インサート無)	FES-024-010-1
2	押上シーブ側軸受ブラケット(1)	FES-024-005-1
3	押上シーブ側エンド軸受ブラケット	FES-024-006-1
4	押上シーブ側エンド軸受ブラケット	FES-024-006-2
5	軸受ブラケットカバー(1)	FES-024-007-1
6	押し上げシーブ	FES-023-021-1
7	押し上げシーブ	FES-023-021-1
8	エンドシーブ	FES-023-001-1
9	スリップローラー(1) 50L	FES-023-011-1
10	スリップローラー(2) 16L	FES-023-012-1
11	プレスベアリング(フランジナシ)	BR-0816D
12	ウレタンライニングドライブプーリー	FES-023-031-1
13	テンションシーブ	TPAW-40T
14	テークアップシーブ	XHS-023-031-1
21	φ18SUSローラー(200RW)	ER200ZS
	φ18SUSローラー(200RW)	ER300ZS
	φ18SUSローラー(200RW)	ER400ZS
	φ18SUSローラー(200RW)	ER500ZS

9-1-2) FES/FED展開図



9. 各部品の手配について

10. 保証

1. 保証範囲と期間

お客様へ機器を納入後、1年(1日あたり8時間稼動)又は2400時間稼動のいずれかに至るまでに、明らかに弊社の設計、製作上の不備による不具合に対しては、速やかに無償にて修理又は部品の交換をいたします。

但し、不具合が次に該当する場合は有償修理とさせていただきます。

- 1) 貴社の責に帰す取扱い或いは設計条件以外での使用による場合
- 2) 天災、異変等、不可抗力による場合
- 3) 電源仕様、接地仕様及び環境条件を満たさない条件下での使用による場合
- 4) 消耗品等の劣化による場合
- 5) 日常の点検整備が行われていなかった場合

尚、弊社または弊社が指定する者以外が改造・変更を行った後に発生した不具合については保証範囲から除外させていただきます。

2. 免責事項

次に該当する損害については、補償の対象外とさせていただきます。

- 1) 不具合に起因する商品(搬送物)の破損
- 2) 不具合に起因する遺失利益
- 3) 不具合に起因する第三者への補償による費用
- 4) 不具合に起因して発生する労務費その他の費用

また、弊社の責によらない仕様検討の遅れ または仕様書の承認の遅れに起因する納期遅れについても補償の対象外とさせていただきます。

3. 保守

納入後の保守点検整備は貴社にて充分行って下さい。

尚、定期点検は別途契約にて承ります。

4. その他

予備品、消耗品類は、貴社にて補充交換願います。